

令和5年度 部報



鹿児島大学陸上競技部 HP

<http://www4.synapse.ne.jp/kadairikubu/>

## 目次

○OBG会 挨拶

○監督 挨拶

○幹部 挨拶

○令和5年度陸上競技部 OBG会 決算報告

○主な大会成績

○令和5年度 部員名簿

○編集後記

## 鹿大 OB

平成5年度入 山内慎一

早春の候、OBGの皆様方、現役の鹿大陸上部員の皆様方、ご健勝のこととお喜び申し上げます。私は、大学生の頃は、長距離ブロックに所属し、主務を拝命しておりました。現在は、中学校の体育教師として、勤務しております。陸上部の指導も20年を超えてきました。ただ、教科指導でも、部活動指導においても、特段の実績ありません。諸先輩方や優秀な後輩に比べ、語るべき話もございません。ですから、先輩から寄稿するように言われた時は、即座に断りました。しかし、そう何度も断れる図太さもなく、お引き受けさせてもらいました。という事情をご理解していただき、拙い文章に最後までお付き合いいただければと思います。

「最近の若い人は・・・」と言われた年齢から、逆にそういった小言をいうような年齢になりました。ただ、私が申し上げさせてもらうなら、「最近の若い人はしっかりしている」です。私の職場の若い人を見ていて思うのですが、手際よく仕事をこなし、自分の生活をしっかりとコントロールしており、非の打ちどころがない人たちばかりです。私の若い頃とか、仕事があまくいかず、そのために暴飲暴食になり、だらしない体型になったり、二日酔いで仕事にいったりという具合で、恥ずかしいかぎりです。

今の現役の学生さんも同じような「しっかりした若者」ではないでしょうか。卒業以来、鹿児島市に居住しておらず、みなさんたちの練習やレースの様子を見ることはありません。ただ、いい加減な練習や生活態度では、先述した全日本駅伝に出場することは叶わないでしょう。きっと、主将や主務、ブロック長を中心にして、まとまりいい雰囲気での練習をしていることだと思います。ぜひ、その良い流れを下級生が引き継ぎ、これからの10年、20年と高い競技力を保ってほしいです。

また、OBGの皆様については、部員の活動へのご理解とご支援、誠に頭が下がります。私の方は、ここ数年 OBG 会へ都合がつかず参加できておらず、申し訳ない限りです。近いうちに、参加して、諸先輩方、後輩の皆さんと昔話をつまみに、酒を酌み交わしたものです。私も今年50歳になり、学生の頃とは違い、「よく知っている方」の訃報を目にすることが増えてまいりました。余計なことですが、私も含め、「昔取った杵柄」ではないですが、ありあまる気力体力は過去の話です。あまり過信せず、無理せず、少し節制しながら、健康に留意していき、これからの若者たちを支援していければと思います。

最後に、寄稿するように背中を強く強く強く押してくださった麻生先生、窓口になってくださった OBG 系の2年生の八木さん、そして原稿作成をしていただいた主将をはじめとした現役学生の皆様、このような機会を与えていただき、ありがとうございました。その思いに応えられるような寄稿にはなりませんでしたが、以上でご勘弁ください。

「なんだその腹は、腹が引っ込むまで鹿大陸上部 OB と名乗るな」と先輩に言われ、ひっそりと暮らしてきました私にしては、晴れの役ありがとうございました。

## 鹿児島大学陸上競技部 OBG の皆様

部長・監督 塗木 淳夫

貴重なご支援に深く感謝申し上げますとともに、この度、鹿児島大学陸上競技部の 2023 年度の活動報告をさせていただきます。今年も、部員一同、皆様の変わらぬ支えのもと、陸上競技に対する情熱を胸に、日々の練習に励んで参りました。この度、大きな成果として、全日本大学駅伝九州支部予選会で初優勝を飾り、39 大会ぶりに全日本大学駅伝への出場を果たすことができました。この輝かしい瞬間は、OB の皆様からの絶え間ない支援とご指導の賜物であり、心より感謝申し上げます。競技結果についての詳細は、各ブロック長より報告されると思いますので、ここでは割愛いたします。

この 1 年間、我々は鹿児島大学陸上競技部としての誇りと帰属意識を強めつつ、資金に恵まれた私立大学や体育専門学部を有する国立大学との組織レベルの違いに直面し、その中で資源の限られた環境でどのように競争していくかというジレンマを感じました。今後、地方国立大学は改組・統廃合が進む中、私たちの状況も変わらざるを得ません。陸上部の中心的存在であった体育科の現状は、特別教員養成課程（体育）の廃止、初等・中等教育コースの定員削減（定員 15 名）となっています。

個人での全日本インカレ（男子 1 万メートル茅野、女子 100m、200m 塗木）の出場とともに駅伝でも全国レベルの大会出場を果たしましたが、私自身の指導力不足を痛感しており、今後の鹿児島大学陸上競技部とどう向き合うべきか、深く悩んでいます。

最後に、鹿児島大学の OBG であり法文学部関西支部の廣田稔様からいただいた長距離部員へのメッセージを共有させていただきます。廣田様は陸上競技部の OBG ではないにもかかわらず、全日本駅伝への出場を大いに喜び、支援金や物資をご提供くださいました。廣田様は、映画「北辰斜にさすところ」の制作者、「天外者」の総指揮者です。

以下、廣田様からのメッセージ

陸上競技、特に長距離走は自己の体の防御本能（体はきつくなったら休めと命じます）をいかに乗り越えるかの競い合いです。

自己の体、感性ひいてはこれまでの経験則を客観視することは人間の成長（大人化）にとっては必須事項です。

そこで自己の感性を乗り越える訓練をクラブ活動を通じて出来たことを感謝して、未来に羽ばたいてほしい。

未来は未知数である。

五代友厚プロジェクト代表

「天外者」総指揮 廣田 稔 拝

## 令和5年度の振り返り

主将 牧 翔太

今年度5月から主将を務めさせて頂いております、牧翔太です。

はじめに、OB・OGの皆様方をはじめ、監督・コーチ、トレーナーの方々には、平素よりご支援並びにご声援を賜り、心から感謝申し上げます。また、今年度は長距離の全日本大学駅伝出場の際の支援金も多くのOB・OGの皆様方からご協力を頂き、私達が陸上競技を続けることが出来ているのは、鹿児島大学陸上競技部に関わって下さっている多くの皆様のおかげであると強く感じています。重ねてお礼申し上げます。

今年度の鹿児島大学陸上競技部の部員は、50名となっております、「克己心」のスローガンに加え、フェアプレーの精神を持ち、真摯に陸上競技へと向き合いながら練習に取り組んでおります。昨年度は、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、塗木ひかるさんと男子4×400mRの全日本インカレ出場や九州学生駅伝3位など多くの好記録が生まれた年となりました。今年度は、新型コロナウイルスが終息を迎えたことにより、部活動に対する規制がなくなり陸上競技部の活動は本来の形に戻りました。その結果、塗木ひかるさんと茅野さんの全日本インカレ出場、長距離の38年ぶりの全日本大学駅伝の出場、九州学生駅伝2位など、多くの好記録とチームとしての強さを強調することが出来たシーズンではないのかと思います。

昨年度以上の成績は残すことは出来ていますが、短距離・長距離ともに他大学も着々と力をつけています。来年度は今年度以上の結果を出せるように現状に満足せず、努力を積み重ねていきます。

また、来年度の5月に行われる春インカレは、鹿児島で開催される予定です。地元「鹿児島」で春インカレが開催されることは、私達、鹿児島大学陸上競技部にとって特別な大会となります。地元開催としてのプライドを持って、これまで以上の上位入賞が達成できるように競技成績にこだわっていきます。そして、私達が陸上を行うために支えて下さっている周囲の方々に感謝の気持ちを持ち、スポーツマンシップに則り、競技を行っていきますので応援よろしく願いいたします。

最後になりましたが、来年度も鹿児島大学陸上競技部はさらなる飛躍のために、より一層精進して参りたいと思います。今後とも鹿児島大学陸上競技部へのご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 令和5年度を振り返って

主務 坂元莉歩

令和5年度主務を務めさせていただいております、坂元莉歩と申します。

本年度は新型コロナウイルスの位置づけが5類に移行されたことにより、様々な制限が緩和され、県内外の多くの記録会や大会に出場することのできたシーズンになりました。また、試合や記録会だけではなく、制限緩和によって総会の開催や合宿の実施など、ここ数年間思うように行えなかったことを不自由なく行うことができたシーズンでもありました。

競技面におきましては、西日本インカレ入賞、全日本インカレ出場、全日本大学駅伝出場など、短距離・長距離ともに大きな舞台に挑戦することのできたメンバーが多くいました。全日本大学駅伝におきましては、38年ぶりの出場ということで、テレビや新聞、雑誌など多くの方面から取材していただき、「鹿児島大学陸上部」の名前をアピールできたのではないかと思います。出場にあたっては、クラウドファンディングやOBG支援金、大学からの支援金など多くのご支援をしていただきました。また、支援金だけでなく励ましや応援のメール、お手紙などでも支えていただきました。長距離部員にとっても大きな力になっていたと思います。

7月には、コロナ禍により数年間中止となっていました、OBG総会並びに懇親会を開催することができました。OBG会員からは49名、学生からは幹部・4年生・全日本大学駅伝出場者を中心とした24名が参加し、短い時間ではありましたが有意義な時間を過ごさせていただきました。私はOBG係としても関わらせていただき、OBGの皆様とやりとりをさせていただきました。いたらない部分が多く、ご迷惑をかけてしまったと思いますが、たくさんの方の知識・体験談等を聞くことができ、大変貴重な経験になりました。また、OBG総会に参加したことにより、日頃の活動が、OBGをはじめとする多くの方々によって支援いただいていることで継続できていることを再認識することができました。

今年度のチーム目標は「克己心」です。自分自身の心に打ち勝ち、さらなる飛躍ができるよう、主務として、一選手としてチームを支えていけるように精進してまいります。

最後になりましたが、私たちがこのように陸上競技に打ち込めておりますのは、お忙しい中ご指導やサポートを行ってくださる監督やコーチ、トレーナーの方々、そして日頃よりご支援・ご声援いただいておりますOBGの皆様のお陰であると感じております。深く感謝申し上げます。

今後とも鹿児島大学陸上競技部への変わらぬご支援・ご声援を宜しくお願い申し上げます。

## 今年度を振り返って

R5年度 副主務 脇園大貴

今年度、副主務を務めさせて頂いております脇園大貴です。今年度も OBG の皆様からのご支援・ご協力、監督・コーチのご指導により、私たち鹿児島大学陸上競技部の活動が充実したものとなりましたこと、厚く御礼申し上げます。今年度は、長距離ブロックの全日本大学駅伝出場に当たってクラウドファンディングを実施し、OBG の方々以外にも沢山の方々からご支援を賜り、非常に多くの人に支えられていることを実感した1年となりました。

今年度は「克己心」のスローガンのもと、2名の全日本インカレ出場、そして長距離ブロックの39大会ぶりの全日本大学駅伝の出場、九州学生駅伝準優勝など、部として大きく飛躍した1年となりました。誰も経験したことのない全日本大学駅伝では、サポートも含めて全国の舞台を目の前で感じる事ができ、良い刺激になったのではないかと思います。令和に入ってから九州代表校としては最高順位という結果も残すことが出来ました。これを一度きりで終わらせることなく、次は更に上のレベルで戦えるよう、チーム一丸となって練習に励んで参ります。

また、私事にはなりますが、入学してから約2年間は長距離ブロックのマネージャーとして活動してきましたが、今年度からは競技復帰し、マネージャー兼選手という形を取らせて頂いています。来年度の鹿児島開催の九州インカレは最初で最後のインカレとなりますが、入賞を目指して有終の美を飾ることが出来るよう頑張りたいと思います。

最後になりますが、来年度も私たち鹿児島大学陸上競技部は、OBG の皆様からの期待に応えられるよう、より一層精進して参りたいと思いますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

## 今年度を振り返って

短距離ブロック長 宮地吾宗

今年度短距離ブロック長を務めさせていただいております宮地吾宗です。今年度も塗木監督・内田コーチをはじめ、OBGの皆様から多くの御支援や御協力を賜り鹿児島大学陸上競技部の活動を行うことができました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

さて、2023年度の鹿児島大学陸上競技部短距離ブロックにおきましては5月の九州学生対校陸上選手権、7月の第78回鹿児島県陸上競技選手権大会、9月の第51回九州学生陸上競技選手権大会、10月の第8回九州学生新人選手権大会といった様々な主要な大会に出場することができました。コロナ禍から大きく脱却を果たし、ここ数年では特に陸上競技に集中して取り組むことのできたシーズンであり、また多くの方々の支援を賜り活動を行えたものと振り返ります。全体の結果としましては自己ベストを更新することのできた選手や、九州陸上競技選手権大会に出場する選手も多く輩出することができました。選手らの日頃から陸上競技に貪欲に取り組む姿勢や、様々な協力があって成し得ることのできた結果であると感じております。一方、自己ベスト更新を達成できなかった選手や、結果の振るわない大会もありました。特に新チームの体制で臨んだ第8回九州学生新人選手権大会では例年に比べて決勝進出者や入賞者が少なく、リレー種目でも鹿児島大学陸上競技部の威厳を見せるレースができず悔しい思いを残す結果となりました。個人としても怪我の多いシーズンとなり自己ベスト更新に繋がるレースを行えず、またマイルリレーでチームに貢献することができなかつたという課題の残ったシーズンでありました。

このような結果を真摯に受け止め、2024年度は鹿児島大学陸上競技部のさらなる飛躍・成長を目標として、個人の大幅自己ベスト更新、マイルリレーでの決勝進出・入賞のためにチーム一丸となって陸上競技に取り組んで参ります。私個人といたしましては最上学年である4年生として、また短距離ブロック長としてチームを引っ張る立場で陸上競技部に携わることになります。ここまでの約3年間の大学での陸上生活を振り返ると、常に先輩の背中に頼り続けて、自ら率先して貪欲に目標や記録に挑む経験が少なかつたと思ひ返します。2024年度は気持ちを新たに、チームを引っ張る立場として誰よりもがむしゃらに陸上競技に取り組み、個人の背中を通してチームを牽引していけるように努めてまいります。

最後に改めてこれまでの監督、コーチ、OBGの皆様の御支援・ご協力に感謝申し上げますとともに、今後も引き続き鹿児島大学陸上競技部の応援の程よろしく願いいたします。

## 今年度を振り返って

長距離ブロック長 鶴田寛武

本年度長距離ブロック長を務めさせて頂いております鶴田寛武です。本年度も OBG の皆様をはじめ、監督、コーチ、トレーナーの方々OB や OG の方々の多大なるご指導やご支援を賜り、活動できていることを心より感謝申し上げます。

今年度はチームとして大きな経験をさせて頂きました。5月に行われた秩父宮賜杯第55回全日本大学駅伝対校選手権大会九州地区選考会において、鹿児島大学陸上競技部長距離ブロックが優勝し、全日本大学駅伝への出場を39大会振りに果たしました。個々の想いの強さが光ったレースで、出場した私も非常に胸が熱くなる瞬間でした。この全日本大学駅伝出場に当たり、クラウドファンディングも実行させて頂き、OBGの方々からも多大なるご支援を賜り、改めてたくさんのご支援があつて出場出来ることを再確認した次第でした。出場が決まってからは、これまでよりも更にレベルアップを図り、チーム一丸となって夏場の練習に取り組んで参りました。たくさんの方々の応援メッセージや現地まで来て頂いた方、テレビの前で応援してくださった方々、数え切れないほどの応援を頂きました。誠にありがとうございました。実際に出場して、鹿児島大学らしい想いを繋ぐ駅伝は出来たものの、関東のチームの壁の高さを実感すると共に来年度も出場して、もう一度感動の瞬間を味わいたいと強く思いました。全日本大学駅伝が終わった後は島原駅伝が開催され、チームとしても初優勝を目指して臨みましたが、結果は2年前と同じ、2位という結果でした。全日本大学駅伝に出場出来たこともあり、出雲駅伝の出場権も獲得したいと意気込んでおりましたが、叶いませんでした。陸上競技の難しさを改めて実感しました。

現在は来るトラックシーズンに向けて、各々の選手がそれぞれの種目に合わせて日々トレーニングに励んでいます。来年度の春のインカレは鹿児島県で開催されるとのことです、より一層熱が入ります。来年度のチームの目標と致しましては、

「インカレ全種目表彰台」「全日本大学駅伝予選会優勝」「島原駅伝優勝」を掲げさせて頂きます。

最後になりましたが、今後とも鹿児島大学陸上競技部へのご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ致します。

## 今年度を振り返って

跳躍ブロック長 小夏和馬

鹿児島大学陸上競技部の跳躍・混成ブロック長をさせていただいております、小夏和馬です。私は昨年度から跳躍・混成ブロック長をさせていただいておりますが、今年はチームの主体となる3年生かつ、跳躍・混成ブロックは1年生が多く入部してくれたというものあり、自分が引っ張っていけるか不安でいつも戸惑ってばかりでした。しかし、OBの方々、同級生、先輩、後輩、チーム全員に支えられ、頑張ることができました。特に今年度は新型コロナウイルスの蔓延が落ち着き、謝恩会やOBG総会といった鹿児島大学陸上競技部を支援してくださっている方々と交流する機会をいただいたことで鹿児島大学陸上競技部は多くの方々に支援されて成り立っていることを強く実感することができました。

今年は跳躍・混成ブロック1年生が多く入部し、若い力が非常に目立つブロックとなりました。これまで跳躍ブロックは走り幅跳びや三段跳の選手が主体でしたが、今年は男女の走高跳、女子の棒高跳の選手が入部し、練習や大会等、より多くの場面で跳躍・混成ブロックの選手の姿を目にすることがあったかと思います。私自身、シーズン初めはなかなか調子も上がらず、焦りや不安感を感じることもありましたが、しかし、入部してくれた1年生を含め、跳躍・混成ブロックの後輩達の活躍は大きな心の支えとなりました。

私自身、また跳躍・混成ブロックのメンバー共に、上のステージで戦う事や過去の自分に勝つことを目標としています。また、記録会や県内の試合ではもちろんのこと、九州インカレや九州選手権といった他大学や実業団の選手が多く出場するような規模の大きな試合で自分のベストのパフォーマンスをするという目標を掲げました。そしてその目標を達成するためには自分達を律して行動し、甘えを無くす必要があります。練習ではこれまで以上に陸上の事を考え、どうすればもっと強くなれるのか、追求していかないとはいけません。また、試合でベストのパフォーマンスをするためには常に今の跳躍の課題はどこなのか考え、次の跳躍で改善する修正力が求められます。

こうした練習に対する意識や試合での修正力について、今後は跳躍・混成ブロック全体で共有したり、互いに助言や指導し合うことで跳躍・混成ブロック1人1人が変化し、その変化が鹿児島大学陸上競技部の大きな飛躍に繋がると信じています。目標達成に向けてより一層、努力し続けていきます。最後になりましたが、常に鹿児島大学陸上競技部を応援してくださるOB・OGの皆様、関係者の皆様、今後とも鹿児島大学陸上競技部をよろしく願いいたします。

令和4年度  
鹿児島大学陸上競技部OBG会  
決算報告

《収入》

項 目	金 額	備 考
前年度繰越金	¥772,975	
OBG会会費	¥98,000	令和4年度納入分(8名)
雑入	¥6	受取利息
計	¥870,981	

《支出》

項 目	金 額	備 考
学生補助	¥300,000	陸上競技部活動補助費
会議費	¥6,000	役員懇話会出席費補助
雑費	¥3,741	インク代
事務費	¥10,000	陸上競技部活動補助費管理事務費
手数料	¥110	郵便局手数料
慶弔費	¥16,500	
計	¥336,351	

収入合計	¥870,981	
支出合計	¥336,351	
差引合計	¥534,630	※ 令和5年度へ繰越し

以上ご報告いたします。

鹿児島大学陸上競技部OBG会

会 計 川路 龍世



日本グランプリシリーズ 2023 日本学生陸上競技個人選手権大会

令和5年4月21日(金)~23日(日)

(レモンガススタジアム平塚)

女子

種目	氏名	結果	備考
100m	塗木 ひかる(M1)	12"58(+0.0)	
200m	塗木 ひかる(M1)	26"34(+1.1)	

第55回全日本大学駅伝対校選手権大会 九州地区選考会

令和5年5月28日(日曜)

福岡大学陸上競技場

種目	氏名	結果	備考
10000m	茅野 智裕(M2)	32'00"31	
	弓削 佑太(M1)	31'50"21	
	田代 敬之(4)	31'45"17	
	別府 明稔(3)	30'52"20	鹿大歴代10位
	平野 皓大(3)	32'16"59	
	藤本 悠太郎(3)	31'31"13	
	梅橋 拓也(2)	32'58"35	
	清藤 悠里(1)	32'27"08	

鹿児島大学 第1位 4時間15分41秒04

## 第76回 西日本学生陸上対校選手権大会

令和5年6月16日(金)～18日(日)

岐阜メモリアルセンター長良川競技場

### 男子

種目	氏名	予選	準決勝	決勝	順位	備考
110mH	牧 翔太 (3)	14"92(-0.5)	14"81(-0.7)	—		大学ベスト
400mH	上田 紘弥 (4)	54"71	—	—		
	未永 康貴 (4)	53"13	52"63	54"90	8位	PB 鹿大歴代1位
5000m	田代 敬之 (4)	14'52"11				

### 女子

種目	氏名	予選	準決勝	決勝	順位	備考
100m	塗木 ひかる (M1)	11"94(+3.9)	12"03(+1.2)	12"26(+1.2)	7位	
200m	塗木 ひかる (M1)	25"26(-2.1)	25"54(+0.3)	—		

## 第78回鹿児島県陸上競技選手権大会

令和5年7月14日(金)、15日(土)、16日(日)

白波スタジアム

### 男子

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
100m	原口 大生 (2)	10"78(+2.1)	—		
400m	福元 海人 (4)	49"84	49"37	7位	
	鳥越 璃音 (3)	52"00	—		
	宮地 吾宗 (3)	51"80	—		

800m	福留 勘太 (M1)	2'01"97	—				
	弓削 佑太 (M1)	2'01"45	—				
	鳥越 璃音 (3)	2'04"21	—				
110mH	末永 康貴 (4)	17"63(-2.3)	—				
	牧 翔太 (3)	15"02(-2.3)	14"81(-1.6)	2位			
400mH	上田 紘弥 (4)	56"71	55"65	5位			
	末永 康貴 (4)	56"53	59"95	8位			
	宮地 吾宗 (3)	57"45	—				
1500m	弓削 佑太 (M1)		4'11"96	7位			
5000m	田代 敬之 (4)		15'44"30				
10000m	茅野 智裕 (M2)		33'42"12				
	田代 敬之 (4)		32'09"04	5位			
	鶴田 寛武 (3)		32'29"98	7位			
4×100mR	上田 紘弥 (4)	42"34	/				
	末永 康貴 (4)						
	池内 謙介 (2)						
	牧 翔太 (3)						
	末永 康貴 (4)	/		41"88	3位		
	原口 大生 (2)						
	池内 謙介 (2)						
	牧 翔太 (3)						
4×400mR	宮地 吾宗 (3)	3'20"09	/				
	鳥越 璃音 (3)						
	福留 勘太 (M1)						
	福元 海人 (4)						
	福元 海人 (4)	/		3'19"34	2位		
	末永 康貴 (4)						
	牧 翔太 (3)						
	福留 勘太 (M1)						

女子

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
100m	塗木 ひかる (M1)	12"06(+2.0)	12"58(-3.6)	4位	
	塗木 さくら (4)	13"10(+2.0)	—		
200m	塗木 ひかる (M1)	25"69(+2.5)	25"07(+3.6)	4位	
	嶋児 天音 (4)	25"65(+1.0)	25"45(+3.6)	5位	

400m	嶋児 天音 (4)		58"51	4位	
三段跳	八木 香澄 (2)	10m85(+3.2)			
走高跳	広川 采矢子 (1)	1m63		2位	鹿大歴 代4位
棒高跳	新名主 葵子 (1)	2m21		6位	
4×100mR	塗木 さくら (4)	50"54			
	嶋児 天音 (4)				
	坂元 莉歩 (3)				
	八木 香澄 (2)				
	塗木 さくら (4)		48"89	4位	
	嶋児 天音 (4)				
	坂元 莉歩 (3)				
	塗木 ひかる (M1)				
4×400mR	山上 遥 (1)		4'07"31	5位	
	嶋児 天音 (4)				
	塗木 ひかる (M1)				
	坂元 莉歩 (3)				

## 日本グランプリシリーズ 第20回田島直人記念陸上競技選手権

令和5年7月29日(土)、30日(日)

維新みらいふスタジアム

種目	氏名	予選	決勝	順位	備考
100m	塗木 ひかる (M1)	12"16(-0.1)	—		

## 第 78 回九州陸上競技選手権大会

令和 5 年 8 月 18 日 (金)~20 日 (日)

SAGA スタジアム

### 男子

種目	氏名	予選	準決勝	決勝	順位	備考
110mH	末永 康貴 (4)	15"50(-1.3)	/	—		
	牧 翔太 (3)	15"23(+1.0)		—		
400mH	上田 紘弥 (4)	56"10	/	—		
	末永 康貴 (4)	55"39		—		
4×100mR	末永 康貴 (4) 池内 謙介 (2) 牧 翔太 (3) 原田 耕作 (2)	42"82	/	—		
4×400mR	福元 海人 (4) 末永 康貴 (4) 牧 翔太 (3) 上田 紘弥 (4)	3'25"41	/	—		
三段跳	小夏 和馬 (3)	NM				

### 女子

種目	氏名	予選	準決勝	決勝	順位	備考
100m	塗木 ひかる (M1)	12"59(-3.1)	12"57(-2.4)	—		
200m	塗木 ひかる (M1)	25"97(-1.7)	—	—		
4×100mR	山上 遥 (1) 八木 香澄 (2) 坂元 莉歩 (3) 竹元 千咲 (1)	52"34	/	—		
4×400mR	山上 遥 (1) 坂元 莉歩 (3) 竹元 千咲 (1) 八木 香澄 (2)	4'19"77	/			
走高跳	広川 亜矢子 (1)	1m55				
棒高跳	新名主 葵子 (1)	NM				

## 天皇賜盃 第 92 回日本学生陸上競技対校選手権大会

令和 5 年 9 月 14 日(木)~17 日(日)

熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

男子

種目	氏名	決勝	備考
10000m	茅野 智裕 (M2)	33'07"67	

女子

種目	氏名	予選	準決勝	決勝	順位	備考
100m	塗木 ひかる (M1)	12"40(-0.1)	—	—		
200m	塗木 ひかる (M1)	25"79(-0.4)	—	—		

## 秩父宮賜杯 第 55 回全日本大学駅伝対校選手権大会

令和 5 年 11 月 5 日 (日)

熱田神宮西門 発

伊勢神宮内宮宇治橋 着

記録

	氏名	結果	備考
1区(9.5km)	藤本 悠太郎 (3)	29分15秒	
2区(11.1km)	弓削 佑太 (M1)	35分07秒	
3区(11.9km)	鶴田 寛武 (3)	36分04秒	
4区(11.8km)	茅野 智裕 (M2)	36分48秒	
5区(12.4km)	清藤 悠里 (1)	39分14秒	
6区(12.8km)	平野 皓大 (3)	42分07秒	
7区(17.6km)	田代 敬之 (4)	57分42秒	
8区(19.7km)	別府 明稔 (3)	1時間04分08秒	

第 21 位 5 時間 40 分 25 秒 鹿児島大学

## 第 41 回 九州学生駅伝対校選手権大会

令和 5 年 12 月 2 日 (土)

長崎県島原市駅伝コース

### 記録

	氏名	結果	備考
1 区(7.74km)	藤本 悠太郎 (3)	25 分 00 秒	区間 5 位
2 区(8.39km)	鶴田 寛武 (3)	24 分 53 秒	区間 1 位
3 区(8.27km)	茅野 智裕 (M2)	25 分 49 秒	区間 6 位
4 区(9.38km)	清藤 悠里 (1)	36 分 15 秒	区間 4 位
5 区(9.08km)	別府 明稔 (3)	29 分 50 秒	区間 2 位
6 区(7.24km)	弓削 佑太 (M1)	20 分 17 秒	区間 2 位
7 区(7.71km)	田代 敬之 (4)	23 分 35 秒	区間 3 位

第 2 位 3 時間 05 分 39 秒 鹿児島大学

## 短距離

学年	名前	出身高校	所属学部	自己ベスト
6	村橋 暁	加治木 / 鹿児島	医/医	300m / 35"94 400m / 50"10
M1	福留 勘太	甲南 / 鹿児島	工/海土	400m / 49"12 800m / 1'52"41
M1	塗木 ひかる	甲南 / 鹿児島	医歯/医科学	100m / 11"90 200m / 24"78
4	上田 紘弥	修猷館 / 福岡	水産/水産	400m / 50"92 400mH / 54"68
4	末永 康貴	鹿児島 / 鹿児島	工/情報生体	110mH / 14"87 400mH / 52"63
4	中本 幸成	人吉 / 熊本	理/物理	100m / 10"94 200m / 21"98
4	福元 海人	楠隼 / 鹿児島	水産/水産	200m / 22"25 300m / 34"97 400m / 48"81
4	吉見 智貴	長崎西 / 長崎	教育/保体	100m / 11"58 200m / 23"05
4	嶋児 天音	加治木 / 鹿児島	医/看護	200m / 25"56 300m / 40"48 400m / 57"98
4	塗木 さくら	鹿児島女子 / 鹿児島	教育/英語	100m / 12"68 200m / 26"82
3	鳥越 璃音	加治木 / 鹿児島	工/機械工	400m / 50"86 800m / 1'58"20
3	牧 翔太	戸畑 / 福岡	法文/法	100m / 11"23 110mH / 14"76
3	宮地 吾宗	鳳凰 / 鹿児島	教育/保体	400m / 50"84 400mH / 57"25
3	坂元 莉歩	川内 / 鹿児島	教育/保体	200m / 27"48 300m / 43"83 400m / 1'00"68

2	池内 謙介	諫早 / 長崎	工/情報生体	100m / 11"17 200m / 22"85
2	原口 大生	甲南 / 鹿児島	工/機械工	100m / 11"08 200m / 22"61
2	原田 耕作	武岡台 / 鹿児島	農/農林環境	100m / 11"26 200m / 22"68
2	吉留 皓平	鹿児島南 / 鹿児島	工/海洋土木	100m / 11"48 200m / 23"97
1	尾方 香心	人吉 / 熊本	水産/水産	100m / 12"21
1	宏洲 真心	鹿児島中央 / 鹿児島	教育 / 初等	400mH / 1'02"36
1	山上 遥	甲南 / 鹿児島	法文/人文	300m / 46"67
1	野添 真生	純心女子 / 鹿児島	水産/水産	マネージャー

#### 長距離

学年	名前	出身高校	所属学部	自己ベスト
M2	茅野 智裕	鹿児島工業 / 鹿児島	工 / 電気電子	5000m / 14'38"00 10000m / 30'25"00
M2	豊平 昂佑	加治木 / 鹿児島	工 / 情報生体	5000m / 14'47"00
M1	弓削 佑太	鹿児島南 / 鹿児島	教育 / 実践	1500m / 3'55"23 5000m / 14'36"53
4	田代 敬之	日向学院 / 宮崎	工 / 機械工	5000m / 14'33"58 10000m / 30'56"76
4	前田 和輝	宮崎南 / 宮崎	工 / 建築	5000m / 16'07"02
3	鶴田 寛武	鹿児島中央 / 鹿児島	工 / 機械工	1500m / 3'57"00 5000m / 14'41"34 10000m / 30'59"56
3	平野 皓大	筑前 / 福岡	法文 / 法経社会	5000m / 15'11"03
3	藤本 悠太郎	宮崎西 / 宮崎	医 / 医	1500m / 3'57"33 5000m / 14'37"75 10000m / 30'44"16
3	別府 明稔	川棚 / 鹿児島	法文 / 人文	5000m / 14'41"00 10000m / 30'52"00

3	脇園 大貴	川内 / 鹿児島	医 / 保健	800m / 2'06"25 1500m / 4'12"90
2	出水田 怜緒	鹿屋 / 鹿児島	教育 / 初等	5000m / 15'38"75 10000m / 33'01"00
2	梅橋 拓也	鳳凰 / 鹿児島	工 / 機械工	5000m / 14'42"70 10000m / 31'00"24
2	松崎 太郎	鹿児島中央 / 鹿児島	工 / 建築	5000m / 15'25"72
2	水口 渉	岩国 / 山口	水産 / 水産	5000m / 15'21"45 10000m / 32'56"66
1	川坂 湧嗣	筑前 / 福岡	工 / 電気電子	5000m / 16'25"48
1	清藤 悠里	鹿児島南 / 鹿児島	教育 / 英語	5000m / 15'09"18 10000m / 31'48"09
1	内藤 十	岡山一宮 / 岡山	農 / 農業生産	5000m / 17'46"25 10000m / 35'06"00
1	水谷 太	前橋 / 群馬	水産 / 水産	10000m / 35'14"00

### 跳躍

学年	名前	出身高校	所属学部	自己ベスト
M2	有菌 蒼	加治木 / 鹿児島	工 / 化学生命	三段跳 / 13m50
4	今井 航	宮崎北 / 宮崎	工 / 海洋土木	やり投げ / 59m13
3	小夏 和馬	熊本国府 / 熊本	教育 / 保体	走高跳 / 1m88 三段跳 / 13m77
3	岩本 禎子	天草 / 熊本	法文 / 人文	走幅跳 / 5m02
2	八木 香澄	熊本信愛女 / 熊本	教育 / 特支	三段跳 / 11m50
1	宮里 朝太	与勝 / 沖縄	水産 / 水産	走高跳 / 1m90
1	新名主 葵子	甲南 / 鹿児島	教育 / 初等	棒高跳 / 2m60
1	竹元 千咲	鹿児島中央 / 鹿児島	教育 / 保体	走幅跳 / 5m43
1	広川 采矢子	甲南 / 鹿児島	医 / 保健	走高跳 / 1m66

## 編集後記

今回も皆様のご協力により、令和5年度の部報を無事完成させることができました。部報作成にあたり、ご多忙の中、原稿を寄せていただいた監督・OBGの方々や編集作業にご協力いただいた皆様に紙面を借りてお礼申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

本年度は、新型コロナウイルスによる制限から解除され、以前の大学部活のことを知る部員が少なく、様々な行事において手探りな状態であり、うまく進まないことも多々あった1年でした。また、今年度は、長距離ブロックが38年ぶりに全日本駅伝に出場し、全国の舞台上で堂々とした走りを披露してくれました。これも皆様の度重なる支援の賜物であると感じております。クラウドファンディング並びに、支援金にご協力いただき、ありがとうございました。

今年度の経験を次年度に生かし、より一層飛躍していければと思います。

今回部報の方には、全国規模の大会、グランプリシリーズ並びに、県選手権、島原駅伝の結果の方を記載させていただいております。他にも今年1年、ここ数年に比べ、多くの試合に部員一同参加しております。そちらの方は、鹿児島大学陸上競技部のHPならびに、X(旧 Twitter)やインスタグラム等のSNSもございますので、ぜひそちらの方もご覧ください。

最後になりましたが、この度大学をご卒業されます方々やOBG会の皆様、そして鹿児島大学陸上競技部の今後の活躍と発展を祈念して編集後記とさせていただきます。